

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

日本語教育を学習する環境がたいへん整っており、それに加えて日本の歴史や文化が根付き、日本大学の根源を直接感じる事の出来る京都という生まれた都市に立地しているからです。また、高校から学んできたキリスト教精神を引き続き学びながら、隣人愛の精神のもとで国際的に活躍できる女性になりたいと思っただからです。

- (2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

大学の「入学者受け入れ方針」が明確で、学科試験のように点数だけで合否が決まる入試より、同志社女子大学に入りたいという強い思いを直接伝えられる入試方式に魅力を感じたからです。また、高校の部活や地域のボランティア活動でアピールできる経験があったことも、AO方式を選んだ理由です。

- (3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

高校三年間所属していたボランティア部での活動にスポットをあて、ポイントをしぼってアピールしました。「どういうボランティアをしたのか」「その活動から何を学び、何を感じたか」「そして今後、この体験をどう生かしていこうと考えているか」を具体的に書くことで、強くアピールできたと思っています。

- (4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

出願書類は、AO入試募集要項配布が開始されると同時に教セット入手しました。手元に教セット用意しておくとし、記入ミスした場合、すぐに書き直しができるので便利に上に安心です。下書きした「志望理由書」「自己アピール文」「課題レポート」は、高校の先生等、複数人に添削していただき、納得するまで何度も書き直しました。

〔面接〕

提出した書類はコピーをとり、面接当日まで何度も読み返しました。課題文は2、3分で内容を簡潔に話せるよう要旨をまとめ、面接の想定問答集も作成しました。通学の電車の中でそれらを読み込み、担任の先生とは何度も面接の練習をしました。併せて、大学のHPや大学案内等の冊子で、同志社女子大学に關することをさらに深く知るよう心がけました。

- (5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

AO入試は、「何のために大学に行くのか」「なぜこの大学・学部に進みたいのか」が強く問われます。書類作成・面接練習等は、自分が思っている以上に時間も労力もかかります。AO入試にチャレンジすることを決めたら、1日も早く準備に取りかかることをおすすめします。来春、同志社女子大学でお会いできることを楽しみにしています。